

恵庭岳

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏な状況です。

○ 11 月の活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1、図 2）

13 日に、北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。

山頂東側の爆裂火口内ではごく弱い噴気活動が続いており、その状況に変化はありませんでした。また赤外熱映像装置¹⁾による観測では、日射の影響のため明瞭ではないものの、噴気及び地熱域に対応した高温域が確認できました。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、恵庭岳について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・ 活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。恵庭岳の噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。

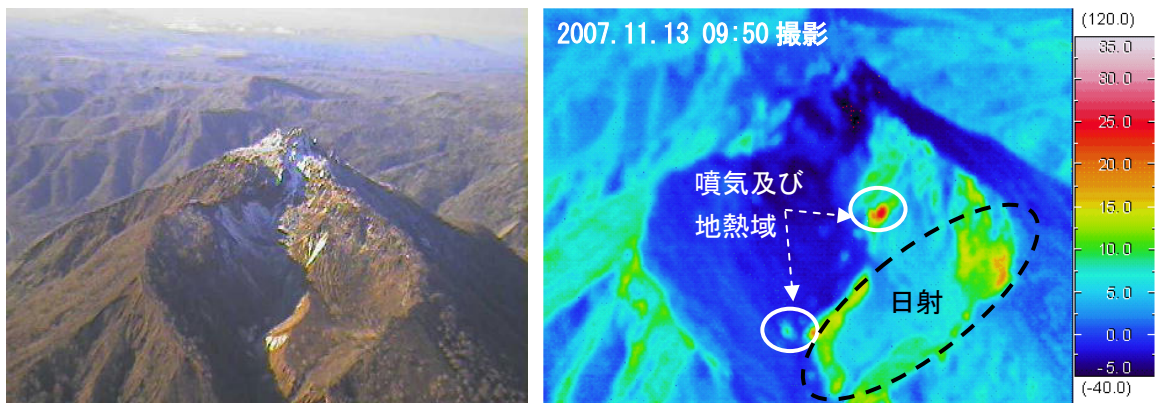


図 1 恵庭岳 赤外熱映像装置¹⁾による山頂爆裂火口の地表面温度分布
(2007 年 11 月 13 日 図 2 の←方向から撮影)

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

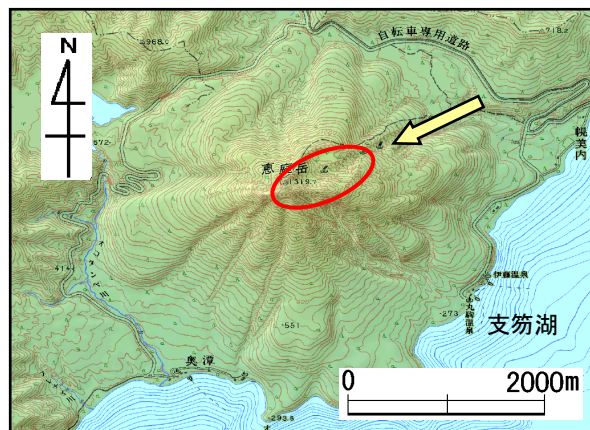


図 2 恵庭岳 周辺図 ○：山頂爆裂火口

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）